



# 第三期中期 5 か年計画概要

# 愛知東邦大学長期ビジョンの実現に向けた方針と戦略ドメイン

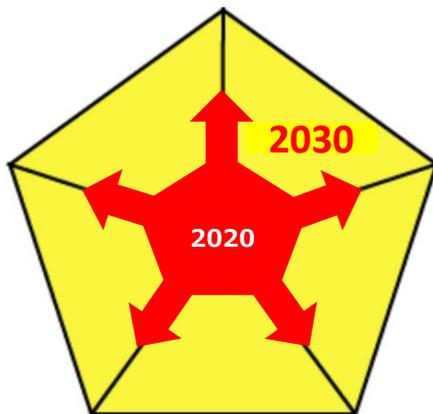
## 2030ビジョンを実現する5大方針

### ①教育方針

ひとり一人の英知と技能を育てるテイラーメイド教育  
Education Policy  
Taylor-made education for each student

②研究方針  
社会の変化に  
適応し、知と技  
能を価値に変え  
る研究拠点

Research  
Policy  
Value creation  
by Intelligence  
and Skills



③グローバル化  
対応方針  
出会いと気づき  
を育むダイバー  
シティキャンパス

Globalization  
Diversity and  
Inclusion  
campus

④社会貢献方針  
地域社会、そして  
愛知とともにある大学

Social Contribution Policy  
Co creation with communities,  
and Aichi

⑤大学運営方針  
インナーブランディングと  
イノベーションで

柔軟性を持つ大学へ  
University Management Policy  
Flexible by Inner branding and  
open innovation

## 中期計画策定における9つの戦略ドメイン

経営強化

差別化

### a. 教育プログラム

カリキュラム・リカレント教育・IR推進

### b. 学生支援

キャリア支援・学生表彰・TA/SA制度

### c. 環境整備・DX推進

ICT活用・次世代教室・施設計画・省エネ

### d. 国際化推進

海外提携・留学生政策・多国籍人材登用

### e. 研究と社会貢献

URA強化・産学/地域連携・研究所体制

### f. 学生募集

入試改革・定員管理・提携校政策・広報

### g. 高大接続

Coブランディング・内部進学・課外交流

### h. 組織行動・人事制度

意識改革・機能強化・柔軟な人材登用

### i. 財務強化

定員計画・投資計画・予算立案/管理



# 愛知東邦大学 第三期中期5か年計画概要

単独または複数のドメインにまたがる課題を解決し機会とするプロジェクトに挑戦してゆく

	プロジェクト名称	主要取組	5年間のロードマップ
教育プログラム	Toho Liberal Arts	教養教育を重視し位置づけを変更、魅力あるカリキュラム開発と教学マネジメント体制構築	2021年度新体制構築 2022年新カリ導入
	IR2.0 project for Taylor-made education	学生に関するデータ分析体制強化と手法開発、テーラーメイド教育の実現に向けてデータ活用のノウハウ集積	2021年分析開始、2022年ダッシュボード化 2023年プログラム実証、2024年ソフトウェア開発
	学位プログラム制導入プロジェクト	専門分野横断型の柔軟なカリキュラム編成の実現による魅力度・満足度向上	2021年構想、2022年設計開始、2023年申請、 2024年新ディプロマ制度導入を目指す
	データサイエンス導入教育プロジェクト	教養科目として、情報数理科目を設置、経営学部に応用基礎力開発を目的とする科目設置	2021年教員体制構築、2022年度以降、教養科目及び経営学部専門科目にて開講予定
	マスターコース設置プロジェクト	ビジネス系専門職大学院の設置。社会人短期履修コース（大学院修士）同時開設	2021年設計開始、以後準備を経て、2024年開設を目指す
	リカレント教育2.0	職業実践力育成プログラムを見直し、遠隔授業など多様な教育方法で高度専門職業人を育成	2021年構想&申請、2022年開始、リモート設備の常設化実現、2025年黒字化
学生支援	キャリア支援&教育2.0	採用の早期化・通年化に伴いキャリア支援プログラムを再考。アントレプレナーシップ教育開始	2021年設計、2022年度以降、教養科目及び正課外活動を含めて展開開始
	Campus Life 2.0	食堂施設等の福利厚生をはじめPC活用可能な自主学習ラウンジ、TA/SA制度等、学生生活の向上	2021年以降、予算配置に基づきCampus planningと連動して順次各種取組を開始
	Toho Academy Awards	優秀学生表彰制度の設計と導入。報奨・表彰制度の再設計	2021年から順次開始、2023年以降は学生のモチベーション向上次第で改良運用

※TA/SA Teaching Assistant/Student Assistant  
 ※IR Institutional Research

	プロジェクト名称	主要取組	5年間のロードマップ
環境整備DX推進	次世代教室プロジェクト	全学BYOD方式・サポート体制構築、LMSの改善、ICTの活用推進と愛知東邦版GIGAスクール検討	2021年度入学生からPC必携化、2022年LMS導入、学生顔認証システム等の導入検討
	Campus Planning for 2030	既存施設修繕、老朽化対策に平行し、隣接地の利用計画の立案。定員計画・大学院設置など教学計画とシンクロした新キャンパス構想の着手	2021年構想着手、2022年キャッシュフロー計画に基づくキャンパス整備計画の策定
	Toho Digital Transformation Initiative	業務のRPA/BPOなどを促進し、セキュリティ強化、生産性向上と省エネ、テレワークを鼎立する	2021年以降、年間予算配分に基づき、毎年度取組領域を決定し順次実現する
国際化	Toho Global Initiative (Post Covid19)	留学生の入学機会増大、グローバル人材教育、海外大学提携校の増加、各種プログラム開発、国際交流センターの設置、外国人教職員起用	2021年国際交流センター設置 提携校開発&プログラム開発の着手 2022年から海外研修再開、本格化と研修先の拡大(学生・教職員)
研究と社会貢献	研究力底上げプロジェクト	研究知財戦略の策定。研究推進経費制度の設計、科研費を含む外部資金獲得支援のURA体制構築	2021年研究IP構想&制度設計、2022年準備開始、URA人材の確保
	地域創造研究所2.0	学部横断共同研究の推進。産学連携のハブ機能など研究所機能拡充。地域企業との共同研究	2021年構想&設計、2022年度以降、地域企業に対して共同研究テーマ募集開始
	Social Contribution プロジェクト	大学ソースの社会還元、地域の公共オープンデータ活用、ボランティア推進、防災連携強化	2021年地域連携センターの位置づけと機能見直し、2022年度以降順次展開
学生募集	セグメント再編プロジェクト	女子学生増員、中部圏以外からの増員、社会人及び留学生増員など、従来セグメントの再設計	2021年推薦枠や広報ターゲットを再考し、2022年度入試から実行
	入試制度改革プロジェクト	データ分析に基づき、入試制度を見直し、総合型選抜入試枠の活用など新たな入試制度を導入	2021年データ分析を継続、入学者選抜方式を検討し、2024年度入試から新制度導入

※BYOD Bring Your Own Device ※LMS Learning Management System  
 ※GIGA Global and Innovation Gateway for AI  
 ※RPA Robotic Process Automation ※BPO Business Process Outsourcing  
 ※IP Intellectual Property ※URA University Research Administrator

	プロジェクト名称	主要取組	5年間のロードマップ
高大接続	高大接続カリキュラムプロジェクト	東邦高等学校コース教育のカリキュラムの一部に高大接続性を実現し、内部進学率を増加する	2021年度内部進学 of 絶対的メリットを再検証し、年次毎の進学者数を増やす
	Toho One Teamプロジェクト	課外活動の交流など、日常的に両キャンパスの一体感を図る。スポーツ&アート（音楽）活動のブランディングで学園ブランドを向上させる	2021年、学園100周年（2023年）を契機とするブランディング戦略立案、2022年以降広報活動を強化、2023年周年行事实施
組織行動・人事制度	FD/SD Mapping	教員FD、教職員一体のSD、学生連動FDなど、本学の自己改善機能のマップ化と情報公開の実現	2021年に中期計画グランドデザインの策定、2022年度に推進組織構築&運用開始
	Disruption Day Work Shop	新しい大学像の価値観共有による意識改革を促進し、ティール組織への移行を目指す	2021年第3期5か年計画の初年度から、全学集会を補完するワークショップを実施
	人材登用ダイバーシティ推進	特任教員、クロアポなどの多様な雇用方式、外国人採用など多彩な人材確保・育成の推進	2021年5か年計画に基づく、人事政策の基本方針の策定（採用・研修・評価等）
	ガバナンス2.0 (Double Loop PDCA)	中期計画の部門行動の計画化。年次毎の予算編成に部門計画をシンクロさせ、マネジメントサイクルの定着を目指す	2020年度内に部門行動の計画化/予算化 2021年度以降毎年ローリング管理を実施
財務強化	定員計画レビュー	収容定員2,000名以上の中規模化を想定した新学部・新学科、新キャンパス構想の着手	2021年にWGを立ち上げ構想案に着手 2025年以降に中規模化を実現する
	投資&資金調達計画	収容定員1,600名維持を前提として、投資計画及び第3期5か年計画に基づく資金調達計画作り	2020年度内に投資案件の優先順位づけ 第3期5か年の財務戦略の策定
	外部経済活用プロジェクト	ベンチャー企業起用による外部経済の導入機会の増大を図る（現状はTLHのみ）	2021年度TLH再開後の収益モデルの検証、イープロの事業機会の増大化

※TLH Toho Learning House  
 ※Teal Organization（ティール組織：自律分散型次世代組織）